

## 「宇治市第6次総合計画基本構想（案）」のパブリックコメント結果

### 1. 意見募集期間

令和3年10月1日（金）から令和3年10月30日（土）まで

### 2. 意見提出者数

提出方法	人数
① 持参	2人
② 郵便	3人
③ ファクシミリ	11人
④ 電子メール	3人
⑤ 市民の声投書箱	9人
⑥ インターネット	14人

合計 42人

### 3. 意見数

関連項目	件数
① 基本構想	18件
② 計画全体	6件
③ 重点施策	8件
④ まちづくりの方向	67件
⑤ まちづくりの土台となる取組	17件
⑥ まちづくり全体	7件

合計 123件

## ○基本構想に関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
1	基本構想	都市像について 第5次にあった「住みたい、住んでよかった」という住民視点が消え、さらに抽象的となった。「個人を尊重する社会」と「人と人がつながるまち」との関係が意味不明。強いて解釈すれば、上述の自己責任論を意味していると取れる。「公助」があって初めて「共助」や「自助」が成り立つ。「パートナーシップ条例」もない市でどうして個人の尊重された社会（性的多様性の保証されたまち）が構築できるのか？	「住みたい、住んでよかった」という視点については、これまでお伺いしてきましたご意見も踏まえ、これまでの伝統と新たな宇治市の良さを生み出していくことを表しております。また、個人の尊重と人とのつながりにつきましては、個人を尊重することは、人を知り、コミュニケーションをとることもつながりますので、一人ひとりをみんなで大切にするまちを目指したいと考えております。 なお、文章のつながりについては、改めて見直し、分かりやすい表現に修正します。	目指す都市像 一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治	有
2	基本構想	安全安心について 安全安心は心の感じ方の問題。「自然災害に強い」「犯罪の少ない」など検証可能な表現にしないと行政の計画としては不適當。内容的には自然災害と犯罪を同列に扱い、共に諸機関連携と市民意識の向上に委ねている。	安全安心については、まちづくりの大きな方向性として設定しており、ご意見をいただいております「自然災害に強い」や「犯罪の少ない」まちづくりにつきましては、中短期的な目標としまして、中期計画に記載し取り組んでまいります。	まちづくりの方向 安全・安心に住み続けられるまち 分野1「災害に強いまちづくりの推進」 分野2「犯罪が起りにくい地域づくりの推進」	無

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
3	基本構想	子育てについて 環境づくりではなく、中学校給食、子供（18才までの）の医療費の無償化、幼児保育・教育の充実、学童保育（6年生まで）の充実、低所得者対象の子育て給付金・児童手当の充実など総合的・具体的な施策を取って初めて子育て中の若年層の住民が増え人口減少に歯止めがかかります。人口減少は自然法則ではなく変えられるものでそれが自治体の役割です。兵庫県の明石市を見習ってください。	子育て世代への本市への移住・定住につなげていくためには、本市で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向け、若者の安定的な雇用の確保を図り、子育てを担う若者が安心して希望する出産・育児を行う事ができる環境づくりに取り組むことが重要であると考えています。 他自治体の取組も踏まえ、宇治市としての取組を進めてまいります。	まちづくりの方向 子育て・子育て支援が充実したまち	無
4	基本構想	いきいきと暮らせるまちについて 環境づくりと自己責任論ではなく、具体的施策を！福祉は「金くい虫」ではなく、地域経済においても重要な消費需要の一つであり、社会的な資源です。	具体的な施策や取組等については、中期計画や毎年度の予算編成において事業化するものとしております。	まちづくりの方向 誰もがいきいきと暮らせるまち	無
5	基本構想	これは基本構想ですから仕方ないかと思いますが、基本構想中の宇治市を城陽市に替えても、ほとんど問題のない基本計画かと思えます。もう少し宇治市の特徴を出せないのでしょうか。例えば環境問題への取り組みなど強化してはいかがでしょうか。	基本構想は大きなまちづくりの方向を示すものであり、第6次総合計画の特徴としては、目指す都市像の変更や土台となる取組の設定、重点施策の絞り込みをしております。 宇治らしさとしては、伝統と歴史が輝くまちをまちづくりの方向の1つとしており、これまでの良き伝統を継承し、さらに発展できるよう取組を進めて参ります。 また、環境問題については、重点施策に位置付けて、取り組んでまいりたいと考えております。	目指す都市像 まちづくりの土台となる取組 重点施策 まちづくりの方向 伝統と歴史が輝くまち	無

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
6	基本構想	第5次総合計画と第6次総合計画の変更点を見比べて一番に感じたのが、「みどりゆたか」という表現が消えてしまっている、それでいいのか?!ということです。私は「みどりゆたか」ということを景観的な意味だけでなく、むしろそれ以上にコロナ禍や気候危機を打開するのにとても大事なのではないかと考えます。お茶だけでなく家族農業が成り立つような支援を宇治独自でもやって農産物の地産地消率を上げ、安全な美味しい食べ物が手に入る住みよい宇治にすることが、選ばれるまちになると思います。家族農業は環境を守り、日々の暮らしを豊かにし、危機にも柔軟に対応できるとその潜在力が見直されています。家族農業の（林業も含め）振興のためにも「みどりゆたか」という表現を第6次総合計画の目指す都市像の中に入れて下さい。	「みどりゆたか」については、第5次総合計画の目指す都市像としておりましたが、これからの新しい時代の都市像としまして、歴史や文化、自然、地域のつながりなど、これまでもありました宇治市の良いところを活かしながら、新しいことにも挑戦するようなまちであってほしいとのご意見もいただいたことから、目指す都市像を一新したところです。「みどりゆたか」という文言は入っておりませんが、これまで以上に、宇治市の誇るべき自然環境を守りながらまちづくりを進めてまいります。なお、農業に関するご意見につきましては、まちづくりの方向「地域経済が活発なまち」において、農林業の考え方について整理し、修正します。	目指す都市像 一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治  まちづくりの方向 「地域経済が活発なまち」	有
7	基本構想	「目指す都市像」の「息吹」及び「紡ぐ」については、ひらがな表記とするか、少なくともルビをふってわかりやすくすべきである。	よりわかりやすくするため、ふりがなを振るよう修正します。	目指す都市像 一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治	有
8	基本構想	「1安全・安心に住み続けられるまち」の「目指すまちづくり」に「感染症」も記載すべきではないか。（市民を脅かすのは防犯・防災だけではない）	「感染症」については、重点施策に位置付け、取組を進めてまいります。	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」	無
9	基本構想	「2子育て・子育て支援が充実したまち」の「目指すまちづくり」の「結婚から」という表現はいかがなものか、現代では、必ずしも「結婚」を選択しないでパートナーと暮らしている方はかなりの数にのぼっている。それと「考え方」の教育について「地域との協働体制の充実」「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や多様なニーズに応じた施設の高機能化、多機能化など」は、説明が抽象的すぎてわかりにくい。例示などでわかりやすくすべきである。	具体的な取組については、重点施策や各分野の中で記載しており、まちづくりの方向については、それぞれの大きな方向性を示しています。	重点施策2「みんなで作る子育て・子育てにやさしい地域共生社会」 分野9「豊かな教育を推進するための学校環境整備」、分野10「家庭・学校・地域の連携・協働促進」に記載	無

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
10	基本構想	「3 誰もがいきいきと暮らせるまち」の「考え方」で「複雑化・複合化した地域課題に対応するため、属性や分野を超えた支援体制」という表現になっているが、現在策定中「地域福祉計画」では、「重層的・包括的な支援体制」という表現にしており、こちらに統一してはどうか。	ご意見の通り、部門別計画である現在策定中の「地域福祉計画」では、「重層的・包括的な支援体制」という表現をしていますが、総合計画においては、より多くの市民の皆様に分かりやすくお伝えする表現で記載したいと考えております。	まちづくりの方向 誰もがいきいきと暮らせるまち	無
11	基本構想	「4 地域経済が活発なまち」の「目指すまちづくり」の「誰もが便利で安全・安心に移動できる、地域特性を活かした都市基盤整備」というのは、表現としておかしい。都市基盤整備は交通インフラだけではない。「誰もが安心・安全に使える都市基盤整備」とすべき。「考え方」では、「地域特性を活かした産業立地」とされており、「地域特性」は、「産業」の修飾語なのではないか。	産業や都市基盤整備については、まちづくりにおける施策の中でも、特に地域の特色がでるものと考えており、ご意見をいただいております。都市基盤整備についても、地域の特性を活かした施策展開を進めていきたいと考えております。 なお、都市基盤に関する考え方については、より分かりやすい表現となるよう修正します。	まちづくりの方向 地域経済が活発なまち	有
12	基本構想	「5 伝統と歴史が輝くまち」という表現は、わかったようなわからない表現のため、素直に「伝統と歴史を大事にするまち」というような表現にすべきではないか。「未来においても伝統と歴史が輝くまち」というのは、どのような状態をさすのか、誰も説明できないのではないのでしょうか。	「輝く」には、「生き生きとして明るさがあふれる」や「名誉や名声を得て華々しい状態にある」といった意味があります。宇治市の伝統や歴史につきましては、引き続き継承していくことも当然ですが、より良い形で発展させていきたいとも考えているため、現在だけでなく、未来においても「輝く」という表現で記載しております。	まちづくりの方向 伝統と歴史が輝くまち	無

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
13	基本構想	「1時代の潮流を捉えた市政運営」は、「1時代の潮流に即応した市政運営」とした方がいいのではないか。	「捉える」には、「しっかりつかむ」や「物事を確実に自分のものとする」といった意味があります。宇治市としましては、近年目まぐるしく変わる時代の流れに乗り遅れることなく、先進的な施策にも取り組んでまいりたいと考えておりますので、「捉えた」という表現で記載しております。	まちづくりの土台となる取組時代の潮流を捉えた市政運営	無
14	基本構想	「3将来を見据えた持続可能な行財政運営」の「考え方」の表現で「行政改革の実現性を高めることで」とされていますが、「行政改革を実施することで」にすべきと思う。また、「一層の行政サービスの充実・改善に努めます」は「一層の行政サービスの充実・改善を進めます」としてはどうか。	ご意見の通り、「行政改革」と「行政サービスの充実・改善」につきましては、持続可能な行財政運営に向けまして、努力目標ではなく、推進する必要がありますので、「行政改革を推進することで」と「行政サービスの充実・改善を進めます」に修正します。	まちづくりの土台となる取組将来を見据えた持続可能な行財政運営	有
15	基本構想	まちづくりの方向（性）で、第5次の4項目に掲げられていた「生涯学習の推進」という言葉がなくなっていることです。介護や支援の必要な方が住みなれた場所で安心して暮らせる手立てはもちろん大切ですが、要介護状態に至らない高齢者が生き生きと暮らせるには生涯学習の拠点となる公民館や図書館など学び集える居場所を拡充することが大切だと思います。さすが文化と歴史のまち、宇治は元気はつらつな高齢者が多い！と評判になるよう、「生涯学習の推進」という言葉を第6次にも残して下さい。	生涯学習の考え方については「誰もがいきいきと暮らせるまち」に位置付けております。また、重点施策としまして、「生涯にわたる多様な学習機会の提供」を記載しているとともに、中期計画においても「市民が学べる環境の充実」の分野を設け、教育の分野に限らず宇治市全体で誰もが生涯にわたって学べる環境をつくるまちづくりの方向性を示しています。	まちづくりの方向 誰もがいきいきと暮らせるまち 重点施策 分野16「市民が学べる環境の充実」	無
16	基本構想	基本構想の「まちづくりの方向」に第5次総合計画（1頁）に挙げていた「生きる力を育む教育の充実と生涯学習の推進のまち」が、第六次では「子育て・子育て支援が充実したまち」と「誰もがいきいきと暮らせるまち」に代わったと見えます。「子育て・子育て支援が充実したまち」作りは重要な方向性だと思いますが、「生涯学習推進のまち」作りは、宇治市民の3割近くを占める「高齢者が生涯を通じて学習の可能なまち」を作ることだと思います。第六次総合計画には是非「生涯学習のまち作り」の方向性を文章で残していただきたいと思います。			無

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等	計画の修正
17	基本構想	全体的に抽象的な表現が多く理解しにくい。”市民一人ひとりの意識の向上””みんなで支えあう””啓発活動””事業者による””みんなで作る”これらは「自助・共助」であって、宇治市の責任はどこにあるのでしょうか。	行政としての責任については、市民の皆様 の暮らしを守ることにあると考えております。 一方で、人口減少や少子高齢化が進む 中、市民の皆様には、行政だけでまちづくりを進めるのではなく、市民の皆様や活動団体等との連携・協働のまちづくりが必要であると考えており、第6次総合計画では、市民の皆様との連携・協働をまちづくりの土台として位置付けて、市民が主体となるまちづくりを進めてまいります。	まちづくりの土台となる取組2 多様な主体との連携・協働と担 い手づくりの推進	無
18	基本構想	都市像と目標の統合や重点施策の絞り込みによって、さらに具体性が消え施策が、見えにくくなった。	第5次総合計画第3期中期計画では、目指す都市像とまちづくりの目標を掲げておりましたが、様々なご意見も踏まえ、新しい都市像を設定しております。 また、重点施策につきましては、これまでの網羅的なものではなく、施策を絞り込むことにより、宇治市が中期計画期間の4年間で何に力を入れていきたいかを示すようにしております。	目指す都市像 重点施策	無

## ○総合計画全体に関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
19	計画全体	第5次の計画案の進捗状況はいかがでしょう。第6次を作る前に、第5次の進捗状況をチェックし、どの部分が達成でき、どの部分が達成できなかった、またどういう理由で未達に終わったかを明らかにすべきなのではないでしょうか。その上での第6次と思います。	第5次総合計画の進捗につきましては、毎年度作成しております、決算成果説明書の中で、それぞれの施策や取組について評価を行っており、また、全体的な評価としましても、市民アンケートをとる中で、市民の皆様からも一定評価を頂いているところです。なお、第6次総合計画では、最初に、12年後に目指すまちを描き、そこに至るまでの課題や取組等について、現状分析を行った上で、計画にお示しするものです。なお、現状の分析につきましては、中期計画の各分野において記載しております。	中期計画 各分野における現状と課題
20	計画全体	第5次までであった現状分析が無くなり、変更点のみとなっている。変更の根拠が示されていない。	今回のパブリックコメントでは、12年後の目指すまちである、総合計画の基本構想の部分へのご意見をお伺いしております。各分野ごとの取組等をお示しする中期計画につきましては、現在作成中であり、総合計画審議会や議会でのご意見を踏まえ作成してまいります。	中期計画 各分野
21	計画全体	分野ごとの中期計画はどこで知ることができるのでしょうか。4年間はあっという間に過ぎます。その間の具体的な行程表が必要と思います。	今回のパブリックコメントでは、12年後の目指すまちである、総合計画の基本構想の部分へのご意見をお伺いしております。各分野ごとの取組等をお示しする中期計画につきましては、現在作成中であり、総合計画審議会や議会でのご意見を踏まえ作成してまいります。	中期計画 各分野



No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
22	計画全体	国・府の施策の追従ではなく、市民が希望を持てる計画を作ってください。その中から、はじめて住民の市政への参加や真のパートナーシップが生まれると思います。	第6次総合計画では、目指す都市像に新しい魅力の創出などの考え方を記載し、また、まちづくりの土台となる取組や重点施策には、市民の皆様との連携・協働の取組を推進することを記載しており、これまでに以上に、市民の皆様にご希望をいただけた計画の策定を目指します。	目指す都市像 まちづくりの土台となる取組 重点施策
23	計画全体	DX（デジタルトランスフォーメーション）・Society5.0（ソサエティ5.0）の言葉の意味の説明が不足	市民の皆様により分かりやすい言葉で表記をするとともに、分かりにくい用語につきましては、注釈や解説で対応します。	用語解説
24	計画全体	住民と市政の捉え方 市や市政の目的は住民の福祉の増進（地方自治法）であり、市長・議長を含めた地方公務員は公僕として地方自治の本旨を実現するのが業務である。しかし、住民は市政の多様な担い手（主体）の一つとされ地方自治の主体（主権者）としての位置付けがない。逆に、市や市政は住民から独立した独自の存在であるとされ、住民の福祉の向上と切り離された市の「経済的」発展・「財政収支」の向上が追及されている。具体的には、「持続可能な行財政運営」の名のもとに市政は「環境づくり」ととどまり、住民の暮らしは住民自身が意識改革をして自己防衛をするものだという自己責任論が散見できるところに表れている。	第6次総合計画では、まちづくりの土台となる取組として、多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進を記載しており、行政だけでなく、市民の皆様や企業、関係団体などと共にまちづくりを進めてまいります。	目指す都市像 まちづくりの土台となる取組 重点施策

## ○重点施策に関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
25	重点施策	重点施策からWITHコロナ POSTコロナを外すべきと考えます。あと一年もしたら、インフルエンザと同じ扱いになる感染症にふり回されることはありません。	新型コロナウイルス感染症の影響により、生活環境が変わり、早期には以前のような生活に戻ることは困難な状況であると考えられるため、WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心を重点施策に位置付け、市民の皆様が安心して暮らせるまちづくりを進めます。	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」
26	重点施策	「1WITHコロナ・POSTコロナ」は英語表記とカタカナ表記が混在しているので、市民にわかりやすくするためには、カタカナ表記に統一すべきではないか。（新聞などもカタカナ表記をとっている）	京都府WITHコロナ・POSTコロナ戦略とも足並み揃えた施策を展開していくため、京都府とあわせた表記としております。	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」
27	重点施策	感染症対策、ワクチン接種に疑問を持つ。マスク未着用、ワクチン未接種者も差別されずに社会生活が行える配慮が必要。（強制されること、差別されること、社会から排除されることがあってはならない。）感染症対策を行う市民、行わない市民、双方が共生できるように情報発信を求める。今現在は「感染症対策を行わないといけない」半強制的な世論が作られている。	障害特性や感覚過敏など、さまざまな原因によりマスクを着用することが困難な人がおられるため、ホームページ等で、そういった方への配慮をお願いしているところです。また、新型コロナウイルスワクチン接種につきましても、接種対象者全員に送付した案内に、ワクチン接種が強制でないことを説明するとともに、接種を受けていない人に差別的な扱いをしないことをお願いする旨の文言を記載しているところです。引き続き、マスクをしていない人やワクチン接種を受けていない人が不当に社会から排除されることがないように、広報に努めてまいりたいと考えています。	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
28	重点施策	”WITHコロナ”ではなく、PCR検査を拡大していつでも安心して医療が受けられるようにしてほしいです。	<p>PCR検査につきまして、宇治市では、クラスター対策が医療体制の維持のため重要であるとの考えのもと、社会福祉施設等の入所者に対するPCR検査助成等を行ってまいりました。また、京都府において、高齢者施設職員等への定期的なPCR検査を実施されているほか、現在国において、感染に不安のある無症状者の検査無料化の検討もなされているところです。</p> <p>引き続き、国、京都府と連携してPCR検査体制の充実に努めてまいります。</p>	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」
29	重点施策	コロナで医療、介護の不十分さが目立つことが多かった。落ち着いている間に対策をしてほしい。	<p>医療体制の確保については、京都府において実施されています。京都府においては、病床の増床、宿泊療養施設の増室、自宅療養者の健康観察の体制整備等に取り組まれているところです。宇治市としては、医療がひっばくしないよう、新型コロナウイルス感染症対策に、京都府とも連携して取り組んでまいりたいと考えております。</p>	重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
30	重点施策	<p>重点施策について 市民・事業者の自粛に頼るWITHコロナではなく、科学に基づくコロナ封じ込めを！PCR検査と保護隔離を基本とする対策とワクチン格差を生まないようにすることは自治体でもできるはず。東京墨田区、世田谷区、和歌山県等を見習って！</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止については、国、京都府との役割分担のもとで宇治市も取り組んできたところです。新型コロナウイルス感染の陽性者への連絡調整や体調観察、濃厚接触者の特定等は京都府の保健所が実施されています。宇治市は墨田区や世田谷区のように保健所機能はありませんが、新型コロナウイルス感染症の陽性者がたくさん出た時期には、保健所に毎日職員を数名派遣して、保健所業務の応援を行ったところです。</p> <p>新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、ワクチン確保に取り組み、全国の平均的なペースと比べても順調に接種を進めることができ、11月末時点で対象者の84%が2回目の接種を終えています。10月中旬からは集団接種の予約にも空きが出てきたことから、接種体制を順次縮小したところであり、11月末までに希望する全員のワクチン接種を完了するという目標については概ね達成できたものと考えております。</p>	<p>重点施策1「WITHコロナ・POSTコロナ時代の安全・安心」</p>
31	重点施策	<p>「3 活力あふれる産業振興と未来への投資」の「未来への投資」という表現は、誤解を招きやすい。「考え方」の内容をみると「都市基盤整備」のことだと理解されるが、一般に「未来への投資」というと、若者たちへの財政支援や未来に向けた基金の設立などと思ってしまう。「3 活力あふれる産業振興と未来への基盤整備」などとするほうがわかりやすいのではないか。</p>	<p>ご意見の通り、未来への投資については、都市基盤整備後の人の流れも含めた意味を持たせております。</p>	<p>重点施策3「活力あふれる産業振興と未来への投資」</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
32	重点施策	茶畑が減って田畑を商工業地へ変えて行くことに危機感を持ちます。自然災害から市民を守るためにも農業を守ることは大事なのに農業の位置付けがない。	農業に関しては、本計画における重点施策「活力あふれる産業振興」に位置付け、まちの活性化に寄与する農業振興を推進していきます。	重点施策3「活力あふれる産業振興と未来への投資」

## ○まちづくりの方向1 安全・安心に住み続けられるまちに関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
33	防災	災害対策では、流域治水・防災都市計画などは別にしても①行政の危機管理体制計画②物資の備蓄・配送体制③避難計画・緊急医療体制等は必須のもの（それとも地震と水害それぞれに対応できるもの）と思うがどうなっているのか？	宇治市地域防災計画に記載し、計画に沿って整備を図っています。	分野1「災害に強いまちづくりの推進」 4.目標達成に向けた主な取組-2.危機管理体制の充実
34	防災	水害におびえなくてよいように、堤防を強化して下さい。	宇治川等一級河川の改修・整備を促進するため管理者である国や京都府に要望します。	分野1「災害に強いまちづくりの推進」 4.目標達成に向けた主な取組-5 治水対策及び雨水流出抑制策の推進
35	防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全カメラの導入など、安全な市にする。</li> <li>・朝日ヶ丘児童公園での「安全カメラの導入」をお願いします。（小中学生のイタズラによる小火や、不審者の発生など、安全面で不安を感じている市民もおります。）</li> </ul>	宇治市第4次防犯推進計画（R3～R7）において、「防犯カメラの設置や防犯カメラ設置事業補助金の交付」を「安全で市民が安心して生活できるまちづくりの推進」に向けた具体的施策として位置付け、防犯カメラの設置による体感治安の向上や地域の防犯環境の整備促進に努めます。	分野2「犯罪や事故が起こりにくい地域づくりの推進」 4.目標達成に向けた主な取組-1.防犯意識の醸成と地域防犯力の向上

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
36	消防	「持続可能な防災防犯体制」は消防指令の広域運用を指していると思われるが、消防力の低下につながり絶対に反対である。	消防指令センターの共同運用とは、複数の消防本部の管轄するエリアを管制する消防指令センターを共同で運用するもので、共同指令センターにおいて災害情報を一元的に把握することで、効果的・効率的な応援体制が確立できることから、大規模な災害が発生した場合や、同じ市町村内で連続して火災や事故が発生し単独の消防本部での対応が難しい場合でも速やかに応援体制をとることができるなどのメリットがあるとされており、消防力の低下につながるものではありません。	分野3「消防・救急体制の充実」 4.目標達成に向けた主な取組-1.消防力の充実強化
37	環境	2050年のゼロカーボンに向けて、〇〇宣言都市など考えてみてはいかがでしょうか。京都府の中でも多くの都市が宣言をしています。まず宣言をし、市民にPRをし、行程表作成の段階でこれから何をどうするかを考えてもいいと思います。	市が行う「ゼロカーボン宣言」などは脱炭素社会の実現に向けた手法の一つとして意義のあるものと考えますが、脱炭素に向けた実効ある取組を推進することが先決であると考えています。宇治市においては国の「地域脱炭素ロードマップ」を参考にしながら、市民の皆様が自発的に環境行動をしていただけるような仕掛けづくりを検討してまいりたいと考えています。	分野4「脱炭素社会の実現へのチャレンジ」 4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
38	環境	宇治橋周辺の虫害が大変気持ち悪い。観光客も不快な思いをしている。実害のない虫ではあるが、大量の虫が飛び回ると毎年の事で、改良されていない。	トビケラは人に害を与える害虫ではなく、大量に発生することにより人に不快感を与える不快害虫であると認識しております。そのため、むやみに駆除するのではなく、観光客が多く来られる時期に合わせて、必要最小限の薬剤散布を行うことや、複数箇所に電撃殺虫機を設置するなどの対策を行っています。また、トビケラは川の中で卵から孵化するため、捕食者となる魚が住みやすい環境を作るための置土を行うなど自然環境や河川、生態系への影響を侵さない対策も行っております。市のホームページにおきまして、トビケラの生態などを紹介しておりますのでご覧いただきご理解を頂けたらと思います。	分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進
39	環境	地球温暖化対策にもっと真剣に取り組む必要がある。 昨今の自然災害、人による資源の浪費など現状を見ると本当に不安になる。 しかし、CO2削減は目に見えないだけに頭ではわかっていても体では分かってもらえない。 市がアドバルーンをまず大々的に打ち上げてもらいたい。（例としてドイツの取り組みなど） 今すでに取り組んでいる黄檗学園や大久保小学校の太陽光パネル設置や公用車の電気自動車の取入れなども積極的に市民に訴求すべき。 とにかく一番肝要なことは啓発、宣伝、よろしく願います。	脱炭素社会の実現に向け、市が率先して更なる温暖化対策を実施するとともに、市民、市民団体や市内企業で構成している「宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ（通称：e c o ット宇治）」とも連携する中で、引き続き、市民、市内事業者へ脱炭素社会の実現に向けた啓発等に取り組んでまいります。	分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進



No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
40	環境	<p>気候変動（地球温暖化対策）に対する宇治市の2050年CO2排出実質ゼロに向けてのアピール宣言および環境政策内容を基本構想の重点施策としてほしい。</p> <p>2015年のCOP21パリ宣言「温暖化を2℃、出来れば1.5℃以下」「CO2実質排出ゼロなど」に基づき、国や全国の多くの自治体（京都府なども）が、こうした内容の宣言を出して、具体的な施策を決めて取り組んでいます。私は、ecoット宇治（宇治市地球温暖化対策パートナーシップ会議）の個人会員として参加して、月に一度は、宇治市役所ロビーにて「家庭の省エネ相談所・再エネ相談所」でアドバイザーとして、一般市民の方に、日々の暮らしの中で、気軽に取り組める温暖化対策を説明しています。これからも、この活動を続けていきたいと思いますが、このまま温暖化が進むと、私たちの暮らしにも大きな影響を与え、未来の子どもたちには、さらに大変なことになると思います。これからの十年（2030年まで）は、地球温暖化を防ぐためにも重要な期間です。第六次基本構想の中に、はっきりと温暖化対策の項目について、重要な施策の柱一つと明記して推進してほしいと考えます。</p>	<p>市が行う「ゼロカーボン宣言」などは脱炭素社会の実現に向けた手法の一つとして意義のあるものと考えますが、脱炭素に向けた実効ある取組を推進することが先決であると考えています。宇治市においては国の「地域脱炭素ロードマップ」を参考にしながら、第6次総合計画においても脱炭素社会の実現を施策の柱として位置づけ市民の皆様が自発的に環境行動をしていただけるような仕掛けづくりを検討してまいりたいと考えています。</p>	<p>分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進</p>
41	環境	<p>公共施設の屋根で太陽光発電を市民との協働でコミュニティパワー発電を事業化して下さい。</p>	<p>いわゆる地域新電力について、現在事業化する計画は持ち合わせておりませんが、公共施設での電力調達の在り方やZEB化の手法などにつきましては引き続き検討してまいります。</p>	<p>分野4「脱炭素社会の実現」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進</p>
42	環境	<p>森林や農業から廃棄物にいたるまでバイオマスサプライチェーンにわたるエネルギー利用を効率的に行える仕組みを整え、バイオタウンを目指す。ソサエティ5.0の構想の中で進めれば実現できます。</p>	<p>バイオマスタウンが複数の自治体で取り組まれていることは承知していますが、現在事業化する計画は持ち合わせておりません。</p>	<p>分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進</p>
43	環境	<p>安全で安心できる住み続けられるまち、子育て・子育て支援の充実も市の財政運営にかかっており、地域経済が活発なまちへの投資には地産地消のクリーンエネルギーを推進して下さい。持続可能なまちづくりの土台となる取組になると思われます。災害対策に河川の改修・治水対策が上がっていて、それも財源が必要です。防災対策ができる範囲内での利水で地産地消エネルギーを増やしてもらいたい。</p>	<p>再生可能エネルギーをはじめとする地域の資源を最大限活用することで、地域内の経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上等の地域課題を解決して行けるものと考えております。</p>	<p>分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
44	ごみ減量	生ゴミを単一収集してバイオメタンガスを回収、ゴミ焼却灰の減量、焼却時の燃料削減を目標に企業と連携して進めていく。生ゴミの回収は難しいですが燃えるゴミ週2回を1回で生ゴミのみ回収を週2回、生ゴミの対応のルールを作る。市民との契約を作り所定の袋を渡すという方法はどうか？メタンガスの利用にはある程度の量が必要ですが広域連携で乗り切れると思われれます。生ゴミ資源化の意義は身近な物がエネルギーになり女性も参加しやすいから問題解決型市民活動になります。契約をする事で意識が明確になりルールを守るための努力や工夫が市民としての自覚になります。SDGsを実現するには意識改革があるのできっかけになります。	循環型社会の構築に必要なごみの資源化やその啓発方法について具体的な提案をいただきありがとうございます。今後の清掃行政の参考とさせていただきます。	分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-3.ごみの減量化・資源化の促進
45	ごみ減量	車に乗っていると、道路脇にペットボトル、空き缶、ひどいものになると、コンビニ袋にはいった生活ごみみたいなものが廃棄されています。歩いていても、たばこの吸い殻や、包装紙の破れたもの、ペットボトル、空き缶が散乱しています。国道や府道は宇治市の管轄ではないといわれる役所の方がいますが、宇治市内にあれば、宇治市民にとって、国道も府道も関係ありません。それこそ、国や府と連携し、予算を確保して宇治市が住みやすい、きれいな街にしてください。また、事業所の周辺も同様です。事業者環境美化を要請してください。住宅街については自治会等に定期的な清掃を要請してください。	宇治市内では、様々な団体が、清掃活動を中心としたクリーン活動を展開されており、その中には事業者や自治会も含まれております。本市ではそれらの活動における支援として清掃道具の貸し出しや実施後のごみ回収などを行っております。引き続きこれらの活動を通じて、環境美化に努めてまいります。	分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-2.ごみ等の適正処理の推進
46	ごみ減量	ゴミ収集の民間化がすすんでいます。収集方法が少しずつ変わり、回収されていないものが多い。市民がしっかり理解し分別できるようにしてほしい。	宇治市では、ごみの分別方法や収集方法に関する周知並びに啓発活動として、環境教育や出前講座の実施、宇治市ごみ分別辞典の全戸配布や市政だよりによる広報などを積極的に行っています。引き続き、これらの啓発活動を実施することで市民への理解を深めていきます。	分野4「脱炭素社会へのチャレンジ」4.目標達成に向けた主な取組-5.環境教育による意識啓発の継続
47	上下水道	水道の民営化の動きに反対。民営だと利益優先となり、トラブル多発時は責任を放棄ということになる。	公営企業として責任を持って水道事業を行い、安全で安心な水道水を供給することを基本とした上で、民営化については、他団体での取組事例も含めてしっかりと検証していく必要があると考えます。	分野5「上下水道の基盤強化」4.目標達成に向けた主な取組-4.上下水道事業の健全運営

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
48	上下水道	水道などインフラ整備を！	今後の水需要を見据え、水道施設の統廃合やダウンサイジング等により、施設の規模・配置の適正化を図りながら、災害時にも一定量の給水を確保できるよう、計画的に水道施設の更新・耐震化を進めます。	分野5「上下水道の基盤強化」 4.目標達成に向けた主な取組- 1.計画的・効率的な上下水道施設の更新・耐震化の推進

## ○まちづくりの方向2 子育て・子育て支援が充実したまちに関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
49	子育て	保育園の職員配置の拡充および所得増加 保育園の保護者への負担軽減（共働き世帯へのサポートとして、オムツ持ち帰り無し、希望者は布団は業者で洗ってもらうなど）	民間保育所等に対し国からの公定価格以外にも宇治市独自の運営補助を実施しており、国基準以上の職員配置や処遇改善が図られているのではないかと考えています。また、保護者の負担軽減につきましては、引き続き保護者や現場職員の意見等をお聞きする中で取り組みを検討していきたいと考えています。	分野6「夢と希望を叶える子育て環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.待機児童対策の推進
50	子育て	学童保育の環境整備、職員配置	保育スペースを確保し、児童がより快適に過ごせるよう、ロッカーなどの備品整備や倉庫設置、施設修繕等を実施してきています。 職員配置についても1クラス2名以上配置し、状況に応じて加配指導員も配置しています。今後も安全安心で過ごしやすい環境整備に努めます	分野6「夢と希望を叶える子育て環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-6.仕事と子育てを両立できる環境づくり
51	子育て	少子化と言いながら保育事情は30年前とあまり変わっていないように思われます。（特に0歳時）安心して子供を生み育てられる環境を望みます。	これまでから保育の質を確保しながら保育所等の整備により定員拡大を図るとともに、待機児童の多くが乳児であったことから地域型保育事業についても取り組みを進めたこと等により、平成30年以降は4月1日の待機児童数は0人となっています。今後も乳幼児期からの教育・保育環境の充実を図る取り組みを検討していきたいと考えています。	分野6「子育て世代の夢と希望を叶える子育て環境の充実」

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
52	学校教育	小学生なのですが、タブレットを配られているので、もっと自宅学習などにも活用して欲しいです。パワーポイントなども、他府県の友人は活用していると聞きました。コロナ感染拡大の時は、自宅でオンライン授業ができるようにしてほしいです。	タブレット端末を家庭へ持ち帰り、オンラインで宿題等に取り組むことについては、現在、準備を進めているところです。また、感染症や災害等による臨時休業時等には、オンラインを活用した学習も含め、きめ細かな対応に努めてまいります。	分野9「豊かな教育を推進するための学校環境整備」4.目標達成に向けた主な取組-2.教育におけるICT環境の推進
53	学校教育	中学校での給食を早くしてほしいです。	早期の中学校給食の実施に向けて、鋭意努力してまいりたいと考えております。	分野9「豊かな教育を推進するための学校環境整備」4.目標達成に向けた主な取組-3.中学校給食の実施
54	学校教育	中学校給食の実現も早くして欲しいです。		
55	学校教育	第6次案では中期計画（令和4年から7年）の重点施策として3項目が挙げられています。中でも「みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会」では、前市長時代から市民の強い要望である「安全安心な公立中学校の給食」を早期に実現して、中学生を持つ家庭の弁当作りの負担を取り除き、「子育て・子育てにやさしい」まちを実現して下さい。 ちなみに文部科学省（ <a href="https://www.mext.go.jp/content/1413836_001_001.pdf">https://www.mext.go.jp/content/1413836_001_001.pdf</a> ）の学校給食実施状況調査（平成30年5月）では、完全給食実施の公立中学校の割合が京都府は75.5%と全国最下位の佐賀県に次いで低い値です。宇治市の公立中学は未実施の24.5%に入っています。残念です。		
56	学校教育	今後、少子化に伴い小学校の統廃合が進むかと思いますが、広域から通学してくる子供の事故事件が心配です。学童の送迎も含めたスクールバス制度の導入を検討していただきたいです。	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令に、通学距離がおおむね小学校4km・中学校6km以内であることが適正な規模の条件とされており、それを超える場合、スクールバス等の導入を検討するものと考えております。	分野9「豊かな教育を推進するための学校環境整備」

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
57	学校教育	小・中学校はできるだけ少人数にすれば、少子化対策が上手くいって増えた時に学校をつくらなくてもいい	現在、国の学級編制基準は、小学校1～2年生は35人、小学校3～6年及び中学校は40人となっています。小学校については、令和4年度に3年生が35人編制となり、その後も学年進行により、現行の40人から35人に段階的に引き下げ、令和7年度に小学校では全て35人編制となります。	分野8「確かな学力と豊かな人間性をはぐくむ学校教育」
58	学校教育	コロナ禍の中、学校では、子どもたちの安全安心、学び、発達を保障するのが大変。少人数学級の拡充を市独自でもすすめてほしい。	また、現在も各学校の状況等に応じて、少人数学級の実施を検討するなど、各学校にとって望ましい学習環境の整備に努めています。 なお、今後の児童・生徒数の推移や地域の状況をみながら、学校規模・配置の適正化に努めます。	

## ○まちづくりの方向3 誰もがいきいきと暮らせるまちに関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
59	地域コミュニティ	「地域コミュニティの活性化・・・」P.5と書いてあるが、集会所や公民館を減らし て来ていて、これも本気で考えているのかと思う。	人口減少社会が進行する中、老朽化等による公共施設の更新の課題がある一方で、防災など地域のつながりは大変重要と考えております。そのため、それぞれの地域に応じた主体的なコミュニティ活動を促進するための支援、事業者等を含めて多様な組織が相互に連携・協力できる仕組みづくりを進めるとしています。併せて、コミュニティセンターや集会所をはじめとする公共施設をもっとご利用いただけるように利用を促進させることに加えまして、店舗や事業所などを集える場・交流できる空間として創出することに努めることで、地域コミュニティの活性化を図ります。	分野11「市民主体の地域づくりの推進」4.目標達成に向けた主な取組-1.地域活動の活性化の促進-2.多様な交流空間の創出
60	健康	高齢者の集える場所や足確保が認知症予防にもなると思う	宇治市で実施している介護予防事業等は、誰もが利用しやすい居場所として充実させるように進めています。また高齢者が身近な場所で健康づくりに参加でき、要介護状態や認知症の発症を遅らせ、地域の中で社会参加・生きがいづくりができるよう事業の実施、支援を目指します。	分野14「生きがいの持てる健康長寿社会の実現」4.目標達成に向けた主な取組-1.高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進-4.介護予防の推進

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
61	保険医療	国民保険料、介護保険料が異常に高い。取り立ては厳しすぎ、給付は手遅れで微小というやり方は税金の正しい使い方ではない。市民のくらしと命を守る市政を！	<p>国民健康保険では、加入者の年齢構成が高いことや医療技術の発達によって、一人当たりの医療費が年々増え続けている一方、人口減少に伴い加入者数が減少しているため、一人当たりの保険料が増加する傾向にあります。</p> <p>そこで、世帯の所得額や加入人数によって保険料の均等割額・所得割額を軽減する制度が設けられています。また、退職や廃業、新型コロナウイルス感染症の影響などの理由により、前年に比べて大きく所得が減少した場合の保険料減免制度があり、分割納付のご相談などもお受けしています。</p> <p>今後、保険料の上昇を抑制していくためには、保険料が上昇する大きな理由の一つである医療費の適正化に取り組むことがますます重要となってくることから、加入者の健康の保持・増進のための保健事業やジェネリック医薬品への切替勧奨などに一層取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>介護保険事業は、高齢により介護サービスが必要になった方に適正な介護給付を受けていただけるよう「宇治市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し実施しております。</p> <p>また、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料額は、負担緩和のため、保険料額の段階を所得段階に応じた細分化（15段階）や、さらに低所得者の保険料負担の軽減ため、市独自で保険料額の軽減対策を行っております。なお、令和2年2月より、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合等に保険料の減免を行っております。</p>	分野13「健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実」4. 目標達成に向けた主な取組 2. 疾病予防や重症化予防の充実 6.持続可能な国民健康保険制度の実現
62	保険医療	年金が少ない中、介護保険料が高すぎる	<p>国民健康保険では、加入者の年齢構成が高いことや医療技術の発達によって、一人当たりの医療費が年々増え続けている一方、人口減少に伴い加入者数が減少しているため、一人当たりの保険料が増加する傾向にあります。</p> <p>そこで、世帯の所得額や加入人数によって保険料の均等割額・所得割額を軽減する制度が設けられています。また、退職や廃業、新型コロナウイルス感染症の影響などの理由により、前年に比べて大きく所得が減少した場合の保険料減免制度があり、分割納付のご相談などもお受けしています。</p> <p>今後、保険料の上昇を抑制していくためには、保険料が上昇する大きな理由の一つである医療費の適正化に取り組むことがますます重要となってくることから、加入者の健康の保持・増進のための保健事業やジェネリック医薬品への切替勧奨などに一層取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>介護保険事業は、高齢により介護サービスが必要になった方に適正な介護給付を受けていただけるよう「宇治市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定し実施しております。</p> <p>また、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料額は、負担緩和のため、保険料額の段階を所得段階に応じた細分化（15段階）や、さらに低所得者の保険料負担の軽減ため、市独自で保険料額の軽減対策を行っております。なお、令和2年2月より、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合等に保険料の減免を行っております。</p>	分野13「健康づくりの推進と年金・医療保険制度の充実」4. 目標達成に向けた主な取組 2. 疾病予防や重症化予防の充実 6.持続可能な国民健康保険制度の実現



No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
63	保険医療	75才以上医療費負担2割化中止してほしい	後期高齢者医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律等において定められており、宇治市の判断で中止できるものではありません。	無し
64	高齢者福祉	「敬老会」の復活をしてほしい。	限られた財源で必要な施策を維持するため、全庁的な事業見直しの中で敬老会事業を廃止し、併せて在宅医療・介護連携の推進や認知症総合センターの開設、生活支援体制整備事業の体制強化などを行ってまいりました。今後も高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、地域や制度で支える体制の充実を図ってまいります。	分野14「生きがいの持てる健康長寿社会の実現」 4.目標達成に向けた主な取組-2.高齢者福祉サービスの充実と家族への支援-6.宇治方式地域包括ケアシステムの推進

## ○まちづくりの方向4 地域経済が活発なまちに関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
65	産業	高度成長時代の、インフラ・公共事業投資（呼び込み）型の経済政策から脱していない印象。これからは、農業・福祉・自然エネルギー重視の地域分散の循環型の経済を目指すべき。特に新名神高速道路のインターに依拠した物流拠点構想は、地元の雇用は生まれず、負債、環境破壊、交通機関としての効果の欠如等一理もない。	宇治市では、総合計画の部門別計画である「宇治市産業戦略」の見直しを並行して行っており、その目標と方向性において、SDGsの視点を持って各種施策に取り組むこととしています。また、近隣他市の同様の施設において一定の地元雇用にも貢献しているマルチテナント型物流施設をはじめ、地域経済を牽引する市内製造業企業の移転・拡張用地確保に向けた取組を進めており、環境等への配慮などご指摘の視点も持ちながら「宇治市産業戦略」に基づき様々な角度から市内経済の活性化を図ってまいります。	分野21「戦略的な産業振興」
66	産業	IKEAを誘致して下さい。 パチンコ屋は不要です。	宇治市の持続的な発展のためには、地域経済が活性化することが重要であり、市内産業の振興とともに、企業ニーズを把握した上で市外企業の受入れに対応していく必要があります。また、パチンコ店に限らず、開発が行われる際には、地域住民の生活環境が保持できるよう条例等に基づき手続きが行われるものと認識しております。	分野21「戦略的な産業振興」
67	林業	天ヶ瀬森林公園まで行き方を京阪宇治駅やJR宇治駅からでも、簡単に行ける様に、工夫して欲しい。 天ヶ瀬森林公園内の整備と天ヶ瀬森林公園内で、ハイキングや遊んだ後に、くつろげるスーパー銭湯を作って欲しい。	天ヶ瀬森林公園付近に駐車場がないため、徒歩で天ヶ瀬ダムから森林公園に入園することになります。また、銭湯等の計画はありません。	無し

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
68	公園	植物公園のイベントを増やして欲しい。緑化フェアの復活、吹奏楽、クリスタルなどのイベントをして欲しい。	植物公園でのイベントについては、指定管理者により令和3年度は18事業が計画されています。 緑化フェアは、平成30年度から中止していますが、その他の緑化の普及啓発のイベントの充実について、市でも検討します。 吹奏楽は年2回計画されていますが、イベントなどに関するご要望は指定管理者に伝え、イベント充実に努めていきます。	分野23「うるおいあふれる緑化の推進と公園の整備」4.目標達成に向けた主な取組-2.植物公園を活用した緑化の普及と促進
69	緑化	道を歩いても、アスファルトとガードレールばかり。夏は、街路樹がないので、アスファルトからの照り返しがきつい。歩いて楽しい街にしてほしい。街路樹があっても、アリの被害の少ない小さいものが多い。歩道を覆いかぶせるような大きな街路樹を整備してください。また、古い樹を撤去して切り株だけが残ったままになっていて、新しい植樹がされていません。是非、緑多い街にしてください。それと紅葉の季節に剪定するのはやめてください。季節感がなくなります。無駄な税金を使わないでください。	公園内の樹木については、地元の町内会等からの依頼に応じ、樹勢・落葉の状況を踏まえて定期的に剪定等を行っているところです。	分野23「うるおいあふれる緑化の推進と公園の整備」4.目標達成に向けた主な取組-3.公園・緑地の整備と管理

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
70	緑化	<p>緑豊かな宇治市に、茶畑や山などを開発して大型マンションなど高齢者施設など多いが、緑を大切にしてほしい。</p>	<p>宇治市では、良好な市街地の環境を形成するため、まちかどふれあい花壇の推進、名木百選の保全など「みどり」の保全に努めるとともに、植物公園を都市緑化の拠点とし、緑化ボランティアへの支援など緑化の普及・促進を行っています。</p> <p>また、市が出資する公益財団法人宇治市公園公社では植物公園での緑化イベントの開催のほか、基金を活用した生垣緑化への助成などを実施しています。</p> <p>これからも、市と公社が連携し、緑化推進事業を実施し、緑を大切にしていきたいと考えています。</p> <p>また、開発に際し、事業者の開発区域内の緑地面積の確保・植栽について指導し、緑化を推進しています。</p>	<p>分野23「うるおいあふれる緑化の推進と公園の整備」4.目標達成に向けた主な取組-1「みどり」の保全と緑化の推進</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
71	交通	<p>バスがあまりにも無くて、おじいちゃんが車の免許を返納してしまうと、うちに遊びにくるのが難しくなってしまうので、お年寄りや車の運転をしない人にもっと優しい宇治市にしてほしいです。</p>	<p>宇治市が公共交通に恵まれた都市であることを活かして、高齢者や車の運転をされない方にも優しい公共交通を維持していくための利用促進に努めているところです。</p> <p>また一方で、駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>運転免許証を返納された方の移動手段についても、移動ニーズのひとつと考え、今後、「宇治市公共交通体系基本計画」に基づいて施策の検討を進めてまいります。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>
72	交通	<p>「誰もが便利で安全安心に移動できる・・・」と目指すとP.6に書いてあるが、この間もバスの運行は減っている。本気で目指そうとしているのかと思う。</p> <p>先日市政だよりに入っていたCOOL CHOICEで、地球を守ろう、できるだけ公共交通機関を活用しよう、とあるがバスの本数が減らされていて活用しようにも活用できない。言っていることとやっってることが違うと思っています。</p>	<p>バスの便数が減少している大きな要因としては、自動車交通への依存が進んでいることがあります。</p> <p>宇治市は公共交通に恵まれた都市であるものの、公共交通を維持していくための利用促進や駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>既存公共交通を維持していくためにも、利便性を高め、利用の促進のための意識啓発に努めていきたいと考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
73	交通	<p>高齢者にとって、公共交通が使いにくい現状がある。私の住んでいる東宇治、特に南山あたりは駅まで行くのに車がないと、歩くには距離がありすぎる。「そこに好んで住んだんでしょう」と言えばそれまでだが、若い頃には車に乗っていた人も高齢になり、車を手放して、とたんに不自由になってどこにも行けないという話をよく聞く。他市でも実施されている「デマンドタクシー」の導入を考えてほしい。</p>	<p>宇治市が公共交通に恵まれた都市であることを活かして、高齢者や車の運転をされない方にも優しい公共交通を維持していくための利用促進に努めているところです。</p> <p>また一方で、駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>運転免許証を返納された方の移動手段についても、移動ニーズのひとつと考え、今後、「宇治市公共交通体系基本計画」に基づいて施策の検討を進めてまいります。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>
74	交通	<p>バスの本数（日、祝も含め）が少なく他の乗り物に乗らないので市役所等公共施設に行くのにもとても不便です。本数を増やして下さい。</p>	<p>宇治市役所へは、宇治駅方面から77便/日、大久保駅方面から48便/日のバスが運行しています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>
75	交通	<p>高速道路はこれ以上ありません。毎日の生活に必要な公共交通の整備をして欲しいです。市役所へ公共交通を使って行くことができないのはおかしい。</p>	<p>既存公共交通を維持していくため、事業者と協力しながら、利便性を高める取組や、利用の促進のための意識啓発に取り組んでいきたいと考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
76	交通	<p>CO2削減をめざす中で、公共交通機関の充実が必要です。</p> <p>バスをもっと走らせて下さい。特に、土日には、40分に1本、地域によっては2時間に1本となります。今、若い人もやがて高齢になってバスがにないと移動に困ります。年をとっても生き生きと暮らせる町づくりに足の確保は行政の責任です。</p>	<p>バスの便数が減少している大きな要因としては、自動車交通への依存が進んでいることがあります。</p> <p>宇治市が公共交通に恵まれた都市であることを活かして、高齢者や車の運転をされない方にも優しい公共交通を維持していくための利用促進に努めるとともに、駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>既存公共交通を維持していくため、利便性を高め、利用の促進のための意識啓発に努めていきたいと考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>
77	交通	<p>高齢者の足の確保</p>	<p>宇治市は公共交通に恵まれた都市であるものの、公共交通を維持していくための利用促進や駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p> <p>既存公共交通との整合性を図りながら地域に応じた移動手段の確保に取り組みたいと考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>
78	交通	<p>生活の利便性や安全性の向上に向けた道路交通ネットワークの構築をにかけていますが、バスの便数が減っている。車に依存できない人が増えてきています。是非、公共交通機関（バス）の運用を真剣に考えてほしいです。</p>	<p>バスの便数が減少している大きな要因としては、自動車交通への依存が進んでいることがあります。</p> <p>宇治市は公共交通に恵まれた都市であるものの、既存公共交通を維持していくため、利便性を高め、利用の促進のための意識啓発に努めていきたいと考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
79	交通	他府県と比較して遅れている交通インフラの整備を進めてほしい。	<p>宇治市は、4本の鉄道が都市公共交通の骨格を形成し14の駅が市民の重要な交通手段となっており、加えて市民の身近な交通手段である路線バスについても市内に多くの路線があるなど、既存の鉄道駅やバス停留所の徒歩圏内に人口の約9割の方がお住まいになっておられる状況からみても、公共交通に恵まれた都市であると考えています。</p> <p>公共交通を維持していくための利用促進や駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。</p>	<p>分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応</p>



No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
80	交通	高齢者にとっては交通手段の不便さが一番大変です。車を持っていないと移動も大変です。デマンドなど高齢者にあった施策を望みます。	宇治市が公共交通に恵まれた都市であることを活かして、高齢者や車の運転をされない方にも優しい公共交通を維持していくための利用促進に努めているところです。また一方で、駅・バス停等の交通結節点までの移動が困難な高齢者に対する移動手段について、検討していく必要があると考えています。	分野24「誰もが移動しやすい交通環境の充実」4.目標達成に向けた主な取組-1.既存公共交通の利用促進と新たな移動ニーズへの対応
81	交通	新名神の開通はそれでいいでしょうが、高齢化が進む中で、買い物難民などが増えつつあります。マイカーに頼らない市内の移動方法を考えるべきではないでしょうか。市内の交通を幹線バス(京阪宇治交通)と住宅地内の循環型低速モビリティに分けるのも一つのアイデアと思います。	運転免許証を返納された方の移動手段についても、移動ニーズのひとつと考え、今後、「宇治市公共交通体系基本計画」に基づいて施策の検討を進めてまいります。	
82	都市整備	近鉄大久保駅、小倉駅の周辺は1等地でありながら、空きビルや空き店舗が多く、さびれた印象です。駅をおりても楽しくありません。ゆったりするスペースや緑がありません。家族で楽しめるレストランや喫茶店がありません。地域の商店街とも連携して、楽しみ溢れる駅周辺の整備をしてください。	次期都市計画マスタープランにおいて、近鉄小倉駅周辺は、“人を集める新たな魅力の創出を図るとともに、市内の他拠点との魅力の共有や連携を図るなど、新しい特色を持った拠点を目指す”としており、近鉄大久保駅周辺は、交通結節機能の充実等による、宇治市の南の玄関口にふさわしい、にぎわいと活力のある都市空間の創出を基本方針としています。	分野25「誰もが暮らしやすい都市づくり」4.目標達成に向けた主な取組-2.計画的な都市基盤の整備

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
83	都市整備	大久保駅前には大きなパチンコ店、駅を出て道を渡ると大きなスロット店。さらに大久保駅西側の西宇治地域（伊勢田・砂田、安田、24号線バイパス王将の近く）にはパチンコ店が多くあります。夜中もネオンが輝いています。さらに大きな空き地に新しいパチンコ店が計画されています。宇治市内を見ても、西宇治地域には特に多いと感じます。文化都市、観光の街とは少しかけ離れています。パチンコ店やスロット店の立地条件を見直してください。	都市計画法では、土地の合理的な利用を図るため、住居・商業・工業などの土地利用を定めた用途地域により立地誘導をしています。しかし、用途地域は大枠のルールであり、きめ細やかなまちづくりの検討を検討するには、地区にお住いの皆様でまちの将来像を共有していただく必要があります。そうした活動に対し市は支援していきます。	分野25「誰もが暮らしやすい都市づくり」4.目標達成に向けた主な取組-1.地域特性を活かしたまちづくり
84	都市整備	近鉄小倉駅周辺の整備。駅、駅前の整備。旧近商のビルを含め、再開発及びバスターミナルの設置、近鉄急行停車の実現を望む。	近鉄小倉駅周辺のまちづくりは、住環境改善、商業活性化、駅前広場設置など多くの課題に対し総合的に検討を進めており、まずは、こうした取組を進めるとともに、それら取組によるにぎわいの創出や乗降客数の増加など、将来の発展の中で鉄道のあり方を検討する必要があります。	分野25「誰もが暮らしやすい都市づくり」4.目標達成に向けた主な取組-2.計画的な都市基盤の整備
85	都市整備	特に新名神高速道路のインターに依拠した物流拠点構想は、地元の雇用は生まれず、負債、環境破壊、交通機関としての効果の欠如等一理もない。 低成長時代に大規模なインフラ整備をすること自体がナンセンスで60年代に建設された現在の道路・トンネル・橋脚等が改修時期を迎えており新しい事業に振り向ける資金はないはず。	多くの雇用を生んでいる市内製造業の施設増設・拡張及び新たな事業所の受け入れが、用地不足から十分出来ていない状況です。新たな工業用地の確保は、こうした企業への支援をはじめとした多様な働く場の創出であり、市の誘導に基づき、民間活力による立地・整備を進めるものです。	分野21「戦略的な産業振興」4.目標達成に向けた主な取組-5.産業基盤の整備
86	道路	身近ではまず、市内各所の消えかかっており危険な道路のセンターラインをなんとかして欲しい。	宇治市内全域でご要望をいただいております。順次補修工事を実施してまいります。	分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-4.道路の適正な管理

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
87	道路	各地の狭くて不憫な生活道路をどうにかして欲しい。例えば、近鉄小倉駅前踏切の西側は南側に歩道があるのに、踏切を渡ってしまえば北側に歩道が移るうえに北側へと渡る術もない等。 大きな都市計画までいなくても、地域住民に改善して示せる場所は多数あると思います。	近鉄小倉駅の北側にある踏切を含む道路については、道路を管理する京都府と宇治市が連携しながら拡幅改良に取り組んでいるところです。宇治市としては、駅周辺道路や通学路等において、地域のご意見もお聞きしながら歩きやすい歩行空間の確保に努めてまいります。	分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-3.道路の改良
88	道路	車道の整備は進んでいるが、小学生の通学路にはガードレールが無い場所もある。 又、歩道については段差、溝、側溝がデコボコしていて、車イス、ベビーカー、高れい者など歩きにくい場所がたくさんある。弱者への道路、歩道を、整備を思う。	宇治市では、「宇治市通学路交通安全プログラム」に基づく通学路の交通安全対策や「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づく駅周辺道路のバリアフリー化などに取り組んでいます。引き続き、各計画に基づいた歩行空間の整備に努めてまいります。	分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-3.道路の改良
89	道路	伊勢田の踏み切は歩行者、特に手押し車などおして通るのがとても危険。平らになおしてほしいです。	JR奈良線の伊勢田踏切は、軌道の曲線部分にあり、曲線を走行する列車の遠心力を緩和するためレールに高低差が設けられています。この高低差やレールとの隙間についてご理解をお願いします。	分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-2.駅周辺の道路整備
90	道路	開町にあるJRの踏切の件ですが、レールがまがっている様で、手押し車が引かかる様で、大変危なくいつもビクビクしながら通っています。何とかして頂きます様に考えてください。		
91	道路	伊勢田の踏切歩行あぶない整備してほしい！！インフラ整備を。		
92	道路	宇治市の道路、歩道のまん中に電柱が立っていたり、段差が多かったりが目立つ。整備を。伊勢田のJRの踏切が特にあぶない。	宇治市では、「宇治市交通バリアフリー全体構想」に基づき駅周辺道路のバリアフリー化などに取り組んでいます。引き続き、歩きやすい歩行空間の整備に努めてまいります。	分野26「地域特性を活かした道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-2.駅周辺の道路整備-3.道路の改良
93	道路	インフラ整備に力を入れて欲しい。大災害多発で宇治市も例外ではない。老朽化したインフラを早めに直すべき。	宇治市内全域でご要望をいただいております。順次補修工事を実施してまいります。	分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-4.道路の適正な管理

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
94	道路	<p>市のあるべき姿との事なので将来的な事にも安心して暮らし利用したいと思ひ伝えさせて頂きます。宇治市の道路事情を今一度整えて欲しいです。六地蔵の交差点JR駅出てスーパーフレスコがある十字路の右折事情が時差式信号機でもなく歩行者別の信号機でもないので優先が絶対なので夕方雨降りとなれば超最悪に混みうんざりします。また私は明星町に在住ですがセブンイレブンがある信号機のない十字路も夕方、特に雨降りとなれば電灯も側に市のLED電灯があるのみで反対側の横断歩道手前の位置で歩行者が停止していても暗過ぎてわからないし関西電力？が転落防止？で設置してる緑色の柵が重なって本当に見えません。歩行者もタイミングを考える、車に乗ってる側も予測して運転は当たり前ですが 急には止まれない事もありますし ころら辺りの学生さんの通学路だから夕方はごちゃごちゃ、小学生位の子もいる時があり、見えない判断が難しいので超最悪な状況と思います。信号機を付けたら付けたで色々混んだりするのかな？とか思いますが必要な時に作動する信号機とか夕方や夜…夕方が1番怖いですがもっと歩行者も車側も目視出来るくらいの明るい電灯を至急付けて欲しいです。一度でいいから現場に行き診て欲しいです。大きな事故になる前に動いて欲しいです。前からずっと思ってたて何処に伝えたらよいかなど思ってたが少し未来的な街づくりの意見とはズレてるかもしれませんが…基本の暮らす為の安心を点検してから未来的に繋げて頂きたいです。</p>	<p>宇治市では、市道の交差点における照明は、主として交通量の多い主要な道路の交差点等において地域のご意見を伺いながら設置しているところです。既存の街灯に関しては、現在の照度をあげることもできますので、いただいたご意見につきましては、道路整備を行う際の参考にさせていただきます。</p> <p>また、信号機等の交通規制にかかる設備の配置については、公安委員会の所管であることから宇治市としても必要に応じて現場の確認を行いながら、窓口である宇治警察署へと依頼しているところです。ご指摘いただきました交差点についても、これまでに地域からもご要望があり、宇治警察署へとお伝えしているところです。</p>	<p>分野26「地域の活性化につながる道路の整備」4.目標達成に向けた主な取組-3.道路の改良</p>

## ○まちづくりの方向5 伝統と歴史が輝くまちに関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
95	文化財保護	伝統と歴史について 文化財は観光のためのものではなく、それを守り次代に受け継いでいった人たちやその人たちの暮らしを含んだものであり、それら全体を守ることが表面的なブランドづくりを超えた奥深い内容を持つ真の観光につながると思う。	ご指摘の通り、文化財には人々の生活や生業と自然風土とによってかたち作られた風景なども含まれており、それらを守り育て、未来へと引き継ぐため、本市では宇治市歴史的風致維持向上計画を策定し、文化財の保存はもとより、文化財を観光等に活用するための様々な情報発信事業を実施し、宇治ブランドの更なる向上を図っています。	分野29「歴史・文化や景観を守り育てるまちづくりの推進」 4.目標達成に向けた主な取組-1.文化財の保存・活用
96	観光	夜の宇治のコンテンツ開発（昼のコンテンツのみで滞在時間延長は発想に無理がある）。	滞在時間の延長に取り組むため、様々な観光コンテンツの創造に努めます。	分野30「魅力ある地域資源を活かした観光振興」 4.目標達成に向けた主な取組-1.豊富な観光資源の活用と観光コンテンツの開発の推進
97	観光	安易な箱ものの観光施設を作ることは、コロナ以後の観光にとって無意味だし、税金の無駄だと思う。	今ある地域資源を活用することにより新たな宇治市の魅力発信に取り組みます。	分野30「魅力ある地域資源を活かした観光振興」 4.目標達成に向けた主な取組-1.豊富な観光資源の活用と観光コンテンツの開発の推進

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
98	観光	<p>平等院通りなどは昔ながらの風情があったが、最近は道に面して大型のメニュー看板、遊技ゲームなど町並が粗悪な印象を受ける。お茶の香りより、たこ焼、ラーメンのにおいがひどい。通りに面した屋外テーブルで食べる客があふれ食べ歩きが常態化して、マスク無しで歩く、食べるがあたり前になっている。金沢や鎌倉などでは、店の前で食べているだけが、許されているが、こんなに多くの人たちが食べ歩いている観光地は少ないと思う。感染が恐いので、お茶を買いに行くのを控えるようになった。保健所では、屋外にテーブルを出して飲食するのを許可しているのが、安全と認めているのだろうか。不快である。</p>	<p>観光客にマナーを守っていただき、訪れる人が安心して快適に過ごせる観光地づくりを目指します。</p>	<p>分野30「魅力ある地域資源を活かした観光振興」4.目標達成に向けた主な取組-3.観光客の受入環境の整備</p>
99	観光	<p>伝統と歴史が輝くまち（文化・観光）に関する提案です。宇治市が世界に誇るものと言えば、①源氏物語と②宇治茶ですが、提案させていただくのは、宇治市の伝統文化である鵜飼における「鵜の呼び方」についてです。新聞等の報道においてはいつも「うみうのウッティー」という表現がされております。学術的には確かに「海鵜」ですが、数年も前から鵜匠の方たちが、神経をすり減らしながら人工孵化させた正真正銘の「宇治生まれの鵜」。もっと言えば、海ではなく「宇治川で生まれた鵜」であることを、なぜもっと強調しないのでしょうか。宇治川で鵜匠により人工孵化で生まれ、育てられたからこそ「放ち鵜飼」が実現する可能性が出てきたのであって、岐阜や島根の鵜飼との差別化を図るためにも、この時期に是非ともウッティー君の呼び方の変更を願うものです。来年の夏には、交流館「茶づな」前の堤防において「放ち鵜飼」が成功する様に、今後、「うみうのウッティー」ではなく、「宇治川生まれのウッティー」又は「かわうのウッティー」と呼び、広くアピールしていただきたく思います。</p>	<p>海鵜で国内初の人工ふ化で誕生したひなの呼称は、宇治市観光協会の公募により、宇治市とウミウのひなと鵜飼などを連想させること、キャラクターとしての呼びやすさや親しみやすさなどを考慮して「うみうのウッティー」と名付けられました。全国で実施される鵜飼は海鵜によるものであり、川鵜よりも繁殖力が弱い海鵜の人工ふ化は非常に珍しいことであり、宇治市としましても「うみうのウッティー」による放ち鵜飼を支援し、伝統的な鵜飼とともに宇治の新たな観光資源として魅力発信に努めます。</p>	<p>分野30「魅力ある地域資源を活かした観光振興」4.目標達成に向けた主な取組-1.豊富な観光資源の活用と観光コンテンツの開発の推進</p>

## ○まちづくりの土台となる取組に関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
100	デジタル化	Maasの活用、ブロックチェーンの活用、観光・ビジネス・行政サービスのデジタル化、ずっと前に書いた2030年の宇治ですが、変化のスピードが早くそれは2025年なのかもしれません。	第6次総合計画基本構想では、「時代の潮流を捉えた市政運営」をまちづくりの「土台となる取組」として位置付け、急速に変わる社会情勢の変化を的確に捉えながら、デジタル技術などを積極的に活用し、地域課題の解決や産業の発展、行政運営の効率化などに取り組みます。	まちづくりの土台となる取組1 「時代の潮流を捉えた市政運営」 1.人に優しいデジタル社会の推進
101	情報発信	何処かの地域で伝えたいことがあればsnsを使い現状を伝えて動く イタズラはダメですが街が循環すれば良い環境になるならお互いが気持ち良くくらしませすよね	SNS等を活用して効果的・効率的に情報発信を行うことで、地域コミュニティの活性化や暮らしやすい環境づくりにつながるよう、今後も情報発信力の強化に取り組んでまいります。	まちづくりの土台となる取組1 「時代の潮流を捉えた市政運営」 4.戦略的な広報／魅力発信

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
102	連携協働	<p>市民の意見、市民自治が育まれていくまちづくりを行うべき。</p> <p>市民に市の計画が十分に伝わっておらず、市民が求める宇治市、生活しやすい街になっているとは一個人の意見として思えない。官民、市民との協働と良く言われるが、一部の企業、一部の市民が参画しているだけに見える。うがった見方だが現状、SDGs、Society5.0をただ推進していく施策を熟考してもらいたい。これらの施策はグローバル企業が国連発信で進めている施策で、一部の企業、一部の市民にとって受け入れられる施策になっている。施策を行っていくと格差が広がるだけで市民全体の福祉向上には繋がらない。</p> <p>検討委、審議委の学識者はこのことがわからないのか。もし根拠を持たれているなら会議の中でしっかり発言して頂きたい。「誰一人とり残さない」の言葉だけが独り歩きしている。</p> <p>繰り返しになるが、市からの情報発信が少ない、市民同士が交流できる場所がないため、市民自治が育まれない。行政が一方向的に市民にも協働を求める姿勢がない、12年間になってほしい。</p>	<p>総合計画をはじめ、宇治市の方向性や取組を十分に市民の皆様と共有する必要があると考えます。</p> <p>そのため、市民の皆様との協働、情報発信の充実については、第6次総合計画において、まちづくりの土台となる取組に位置付けており、あらゆる取組において基礎となる部分であると考えており、市民の皆様との協働による取組を進めてまいります。</p> <p>また、市政に対する市民の皆様との自主的かつ積極的な参加は、市民の皆様のご意見やニーズを的確に反映したまちづくりの実現に不可欠であり、引き続きご意見をお伺いする機会の確保・充実に努めるとともに、情報を共有する中で市民の皆様と行政との協働を進め、地域をはじめ様々な主体が活動を促進する中で、市民自治の推進に努めてまいりたいと考えております。市民同士が交流できる場所としては、集会所をはじめ、さらにご利用いただけるように公共施設の利用を促進するとともに、店舗や事業所などを集える場・交流できる空間として創出することに努めてまいりたいと考えております。</p>	<p>まちづくりの土台となる取組1 「時代の潮流を捉えた市政運営」 4.戦略的な広報／魅力発信</p>



No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
103	公共施設	市民の集う場所が老朽化しています。新しく建て直すことも考えて、数も増やし安く使用できる様にして下さい。	公共施設については、市民生活やまちづくりにおいて、重要な役割を担うと考えております。一方で老朽化、人口減少・少子高齢化の進行により、すべての公共施設を維持することが困難な中、複合・多機能化など総量の適正化を図りながら、市民ニーズの変化や将来のまちづくりを見据えた見直しを図ってまいりたいと考えております。一方で、防災など地域のつながりは大変重要と考えております。そのため、それぞれの地域に応じた主体的なコミュニティ活動を促進するための支援、事業者等を含めて多様な組織が相互に連携・協力できる仕組みづくりを進めるとしてあります。併せて、コミュニティセンターや集会所をはじめとする公共施設をもっとご利用いただけるように利用を促進させることに加えまして、店舗や事業所などを集える場・交流できる空間として創出することに努めることで、地域コミュニティの活性化を図り、人と人がつながる機会の創出に努めます。	まちづくりの土台となる取組2 「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」 1.市民・産・学・官等との連携・協働  分野11 市民主体の地域づくりの推進
104	公共施設	公民館がなくなったのも困ります。高齢者が集える場所も増やしてほしい。		
105	公共施設	市民がいきいきとするまちづくりと構想に書いてあるのにつどう場所が少ないと思います。公民館やふれあいセンター、集会所など気楽に寄れる場所を作って下さい。特に中宇治は宇治公民館がなくされてからサークルの会場、会議の場所など困っています。		
106	公共施設	高齢化の時代、高齢者が気軽に集える場所を増やして欲しいです。		
107	公共施設	*地域コミュニティのための公民館や集会所などの公共施設の確保を図ってほしい。 宇治市のこれからの人口推計を見ると、全国的と同様に、人口が減少するとともに、少子高齢化がますます進むと予想されます。まちづくりの基本として、お年寄りから子どもまで、集まって、気軽に遊んだり、お話ができるような、身近に住んでいるところに集会所などの施設の充実が欠かせないと思います。いま、どんどんこうした施設がなくなってしまうように思います。わたしも、市民公民館がなくなってしまう、観光グループ活動の話し合いができる場所の確保に困っています。		
108	公共施設	人と人がつながるまちづくりを目指すためには、公民館やふれあいセンターの充実をお願いしたい。集会所も市直営にしない方向でいっているのもおかしい。市民にとってそういう場所をふやす。		
109	公共施設	公民館や福祉センターを利用していたが、使う人が多く、申し込みをしても利用できない。市民が平等に使えるようにしてほしい。		

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
110	財政	<p>日頃の宇治市政に対して皆様のご努力に感謝いたします。</p> <p>宇治市の将来について現在の予算などから私見を述べさせていただきます。一言で宇治市は課題が多いなというのが印象です。</p> <p>まず、子育てにやさしいまちづくりについて予算が笑うほど少ないと感じます。（城陽市は子育て支援に17,000万としています。）共働き世帯への対策もまったくありません。</p> <p>安心してらせる町づくりは、中身を見るとあたりまえのことばかりです。防犯については充実度が見られるトレンドの1つですが全く記載がありません。街灯はよく整備されていると思いますが、防犯カメラはどうでしょう（守口市は通学路を中心に約1000台あります）市道もいつまでたっても狭く、通学する小学生はとても危険なイメージです。速度抑制のためのハンブもあります。防災への計上もありません（城陽市は防災無線に6500万計上）。</p> <p>新たな産業振興へは無策に等しい状況。（城陽市は企業立地に1億円計上）宇治市は大型商業施設はなくなりつつあり、又周辺市に物流拠点がどんどんできていく（賛否はあるかもしれませんが）。宇治市はお茶と観光一辺倒。住民サービスのための税金88億円を使っている歴史公園は最大の愚策と考えています（税金を使っているホテル建設など論外です）。</p> <p>住みたくなるまちづくりも高齢化への対応記載がありません（長岡京市は認知症対応に23,000万、城陽市は高齢者対応も含め公共交通に7000万計上）。</p> <p>その他として宇治植物園ですが、小さな市が手がける施設とはとても思えません（3000万弱の収入のために2億円の支出）。</p> <p>宇治市の組織もマルチタスクの時代に規模の割に部、課、係が非常に多く、縦割行政の典型で意思決定など遅いだろうと想像します。都市整備部など総合的に考えるべき所に課や係があるのかなと思います。人口減少で組織をスリム化が必要なのに足かせにしか見えません。</p> <p>まずは、市、税は住民サービスのためにあることを前提に考え、実行して頂きたいと思えます。</p> <p>乱文乱筆失礼いたしました。</p> <p>（水道料金も今以上上がると周辺市で一番高い中間問題になります）</p>	<p>宇治市を取り巻く社会情勢が目まぐるしく変化するほか、少子高齢化が今後さらに進行し、宇治市の人口構成も変化することが見込まれており、また、財政見通しでは今後も厳しい財政状況が続くものと見込んでいます。</p> <p>歳入の確保とともに人件費等の見直しによる内部改革や事業の見直しなど歳出の削減に取り組む中で持続可能な財政運営を実現し、市民生活を支えるとともに、市の将来の発展のために必要な未来を見据えた施策や事業にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。</p>	<p>まちづくりの土台となる取組3 「将来を見据えた持続可能な行財政運営」 1.健全な行財政運営の確立</p>
111	財政	<p>土台の取組について 行政運営の効率化は、無駄な事業（インフラ・公共投資）をしない事。市の所有地の2割削減・売却は市民財産の売り切りであり、コミュニティの再建の方向での有効活用を図るべき。</p>		
112	財政	<p>今後、「茶づな」のような無駄の箱モノは必要ないです。</p> <p>天ヶ瀬ダムのホテル計画も、税金の無駄だと思います。</p>		

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
113	財政	ふるさと納税で、京都アニメーションや任天堂へ協力をお願いし限定グッズを返礼品にしたり、協賛しているなら京都大作戦のチケット・グッズを返礼品にしてみてもいいかでしょうか？お茶に頼るより、申し込む方が多いと思います。	これまでも、市内事業者のご協力により、様々な魅力ある返礼品をご提供いただいているところです。返礼品の提供につきましては、それぞれの事業者のご判断となることから、今後も宇治市の魅力はもとより、市内事業者へふるさと納税制度を周知することも含め、返礼品をご提供いただけるよう取り組むことで、市のPR、地域の活性化を進めてまいります。	まちづくりの土台となる取組3 「将来を見据えた持続可能な行財政運営」 1.健全な行財政運営の確立
114	行政サービス	最近市の施設を予約するのにスマホで登録する様になり、慣れてない人は困っている。市役所に行けば、手続きを代行してもらえる様なサービスはできないか。例えば確定申告の時、税務署ではそばに1人付いてくれてパソコン入力をしてきて、申告の手伝いをしてきているが、その様なサービスが欲しい。	市民サービスの向上としてオンライン申請などのデジタル技術を活用するとともに、人に優しいデジタル社会の構築に向けて、窓口における対応等についても検討してまいります。	まちづくりの土台となる取組1 「時代の潮流を捉えた市政運営」 1.人に優しいデジタル社会の推進
115	人事	市民サービスが低下するような職員削減は、市の公的責任の放棄であると共に、市政の停滞を招く。安易な業務の民間企業へのアウトソーシングは、サービスを低下させ、費用を増大させるだけ。利害関係の調整や業務内容のチェックは誰がどのように行うのか？最低、議会にきちっと資料提出が行われなければ汚職の温床になるのでは？	多様化する行政需要に対応し、市民満足度を維持・向上していくため、民間活力の導入など、費用対効果等の観点から評価・検証をしながら健全な行財政運営に取り組んでまいります。	まちづくりの土台となる取組3 「将来を見据えた持続可能な行財政運営」 1.健全な行財政運営の確立
116	広域連携	広域連携事業は議会のチェックが機能しないので、安易に行うべきではない。	行政ニーズが多様化する中で人・物・金など限られた資源を効果的・効率的に活用し、市民サービスの向上を図るためには、国・京都府・近隣自治体との広域連携は必要であると考えております。また、議会へは予算・決算をはじめ適時・適切な報告等に努めてまいりたいと考えております。	まちづくりの土台となる取組3 「将来を見据えた持続可能な行財政運営」 3.国・府・市町村による広域連携の強化

## ○まちづくり全体に関するご意見

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
117	まちづくり	今後、宇治市として取り組むことは狭い生活道路の解消や、若い世代が他府県からわざわざ足を運んで、お茶以外で楽しめる街、現役世代が永住したくなる街、お茶や平等院に頼り切っている市政からの脱却だと思います。	ご意見の通り、今後の宇治市としましては、若い世代の方々に宇治市に来ていただく、また、住んでいただいている方には永住したくなるまちを目指しております。そのためには、目指す都市像でもお示ししております通り、これまでの宇治市の良き伝統を継承、発展しながら、新しい魅力の創出にも力を入れて取り組んでまいります。	
118	まちづくり	宇治市の人口は毎年約1千人減少しています。転出届けのとき理由を市民課で聞いて対策を立てる必要がある。生活環境に問題があるのか労働場所がないのか確認する必要がある。市内には広い空き地が沢山あります。	転出理由については、転出者へのアンケートを実施しており、その要因に応じた施策展開を検討し、取り組んでおります。また、空き地につきましても、市有地であれば、有効的な活用方法の検討や売却による財源の確保に取り組めます。	
119	まちづくり	<p>《新しいまちづくり》—宇治市はワクワク・ドキドキするまちへ—</p> <p>1.取組概要</p> <p>A 地元企業、地域住民との連携による人材育成の推進など、多様な官民連携の取組により稼ぐ力の向上及びゆとりとにぎわいのある「新たな日常」のまちを創出する。</p> <p>B 市民協働による夜間景観の形成を進めることで、「昼も夜も誰もが歩いて楽しめる魅力的で災害にも備えた都市空間」を創出する。</p> <p>2.目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宇治市の魅力度が増加</li> <li>・歩行者通行料が増加</li> <li>・にぎわいがあると感じる市民の割合が増加</li> </ul>	地元企業や地域住民との連携や人材育成の推進については、第6次総合計画において、まちづくりの土台として設定しており、市民の皆様や地元企業との連携・協働により、いただいたご意見も参考にさせていただきながら、それぞれの取組を進めてまいります。	

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
120	まちづくり	<p>”投資”も大切かもしれませんが、今ある事業を守るべきです。          大きな事業にばかり税金を使うのではなく、市民への行政サービスを充実させて下さい。それが一番安心して暮らせ、安全なまちづくりになると考えます。</p>	<p>市民への行政サービスを充実させ、市民の生活を守ることは行政の役割であると考えております。          一方で、今後のまちづくりとして目の前の課題等のみではなく、将来を見据えた施策展開も必要でありますことから、両方の視点でまちづくりを進め、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちを目指します。</p>	<p>まちづくりの土台となる取組3          「将来を見据えた持続可能な行財政運営」          健全な行財政運営の確立</p>

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
121	まちづくり	<p>宇治の将来と現在まで</p> <p>さして恵まれた土地ではないのですから、市民子たちの為、日本の為を計画すべきと思います。将来の展望は現在の小中学生から人材豊かに、財力豊かに成長させることです。市町村自治体の第一の運営は、小中学校幼稚老介園の教育福祉でありますから最重点の予算配分すべきです。豊かな人材財力発展させた人材の歴史人物像の生立ちは、教職にあられる多くの人が自治体に勤められています。</p> <p>国土の狭い島国、都に限らず全国津々浦々密集して生活しています。農山漁村部の後継難都市近郊住宅の老齡閑地、国県政の如く全域マクロでなく自治事業マイクロ運営され、自ら企画し自ら行動することです。利権関係団体（事業商人）に委託してはいけません。成人だから行政職だからと呼称で特待行使せず少青壮老の総力結集チームで計画するのが良い。小中学生のサークル、教職員サークル（家庭理社国芸保健体育）からの情報提案に立派なのがあるはずで。偏重のない一次・二次・三次産業のバランス社会を展望すべきです。一次産業は自然保護に役立ち二次産業が財力蓄積し三次産業は市町村の生活を貢がせる。そんな三方豊かな社会でありたい。これこれ教育福祉の充実の礎となるに違いない。</p> <p>教育訓練とは何か、解答への道筋は色々、文章の味の如く、技能訓練とは、先人の伝承習得で済むのか、これからの将来の為の教育が要求されている。野球サッカーテニสนามは庶民より、アスリート養成であって、水泳プールの大衆性に比べ利用人口少ない。新增設せず現有の個人宅・民間借用施設をも活用すれば整備財力を蓄えられます。宇治茶のブランドにて今日まで産業成立しているお茶の将来は飲料でしょうか、乳コーヒー酒類と競っています。山城の苦手とする未開分類はどこにありますか、視察情報収拾も大切です。例えばお茶と組合せられるモノにどんなのがあるか、宇治市民に愛される宇治茶イベントも必要でしょう。茶屋にないモノを宇治で堪能できることも考案しましょう。</p> <p>今日、中国台湾日本の茶業各地の村経済は、どうなのでしょう、過剰なのか私を茶園に入植したい気にさせませんでした。親子共宇治を空家とし、県外へ転出移住して20余年です。ニチイサティイオン、駅前ショップ、南京信も消えました。市民来客人共々少青壮老混合の市民祭恒例もあり、何より楽しく安心して暮らせる幸せの家庭の灯び永続を消せません。</p>	<p>宇治市にこれまでからある、自然環境や歴史、文化などを継承、発展させながら、これまでにない新しい魅力を創出する中で、将来を見据えたまちづくりを進めていく必要があると考えております。</p> <p>また、第6次総合計画では、あらゆる施策や取組において基礎として位置付けるまちづくりの土台となる取組を設定するとともに、第1期中期計画では、3つの重点施策により特に力を入れて取り組む施策をお示ししています。</p> <p>これら、総合計画をまちづくりの指針とし、将来を見据えたまちづくりを進めることにより、将来においても、市民の皆様が安心して暮らせるまちを目指します。</p>	

No.	項目分野	意見の内容	宇治市の回答、考え方	総合計画の関連箇所等
122	まちづくり	<p>自衛隊の活動には日頃より感謝しています。しかし、宇治市には黄檗にも自衛隊の駐屯地があります。宇治市に2つも自衛隊の駐屯地は必要ありません。大久保の駐屯地は大久保駅近くの1等地です。それぞれ役割が違うとは思いますが、大久保駐屯地を黄檗の駐屯地に併合して、大久保駐屯地の跡地には、広大な市民公園にしてください。東京武蔵野市の吉祥寺駅近くにある井の頭公園みたいに駅近くにこれほどの広さに緑あふれる公園になれば、街全体が明るく楽しくなります。周辺の人流も増え、店舗にも賑わいが増えてきます。是非、国と連携して実現してください。</p>	<p>市内にある自衛隊施設については、それぞれの歴史や経過等もあります。国の防衛上大変重要な施設でもあるため、移転の考え方につきましては、十分慎重に考えていく必要があると考えております。</p>	
123	まちづくり	<p>今後宇治市は高齢化が進みます。産業の発展、産業の振興を目指すより、安心、安全な住みやすい街づくり(良い意味での田舎化)を目指すべきと思います。</p>	<p>宇治市だけでなく、全国で高齢化が進んでおり、高齢者が住みやすい、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。また、一方で、安全・安心なまちづくりには、まちの活性化や賑わいにつながる若い世代の力も必要となりますので、子育て支援や産業振興などの若い世代が住みたいと思うまちを目指した施策の推進も必要であると考えております。</p>	